

テーマ

『Craniomandibular Function を考慮した総合的診断』

講師：青木 聡先生

日時：平成26年6月29日（日）

場所：大阪・ハービスプラザ



甲斐智之（兵庫県）

平成26年6月29日ハービスプラザにて、第1回関西支部研修会が開催されました。梅雨の中、絶好の研修日和となりました。

講師は青木 聡先生、テーマは『Craniomandibular Function を考慮した総合的診断』。

咬合再構成に対して、単なる器具の取り扱いのようなことではなく、背景にある下顎の運動路、顎路の軌跡等から考察をし、それを口腔内にどのように生かしていくかといったコンセプト的な内容が多々あり、多くの先生方の質問がその辺りに集中していたように感じます。

個人的にもそのような内容にとっても引き込まれました。

顎機能については、CADIAX（コンピュータ・アキシオグラフ）を用い顎機能の問題点を具体的な数



値として、咬合器を調整し、それに基づいたプロビジョナルレストレーションを装着した後に、最終補綴に反映させる手法をとられていました。

その他、夜間ブラキシズムの検査をBruxCheckerを用いて行う等、興味深い話が一杯あり、臨床医

にとって日常避けて通れない補綴治療を正確に科学的にどう捉えていくかといった先生の咬合治療への取り組み方に対して、日常診療で疑問に思う率直な質問が会場から沢山向けられた。

最後まで盛り上がりを見せた研修会となり、有意義な一日を皆送る事が出来ました。

